令和3年度環四国サイクリングプロジェクト(オンライン&しまなみ海道編)活動報告

(令和3年度愛媛大学国際連携 学牛海外短期派遣・受入プログラム支援事業申請事業、愛媛県後援事業)

【事業概要·目的】

日本と台湾の学生が共に「自転車」というコンテンツを用いて地域の歴史・文化等に触れるフィールドワークを行い、日台間の異同等に目を向けつつ、実社会において有用となるグローバルな感覚や、協働を促進するコミュニケーション・リーダーシップのあり方について実践的に学ぶこと目的とした事業。また、産学官連携事業として、愛媛県が推進する「自転車新文化」を両国の学生たちが広く発信することも目的の一つとしている。今年で 4 年目を迎える。昨年度は、COVID-19(新型コロナウイルス感染症)の感染拡大予防の観点から、オンラインによる国際交流をメイン企画としていたが、今年は、オンラインでの国際交流に加え、感染防止対策を徹底して、実際にしまなみ海道をチームでサイクリングすることを通じて、SNS等でのリアルな交流にもチャレンジし、両国学生間の国を超えた「深いつながり」を築く機会とする。

【日時·方法】

(第一弾) 令和 3 年 10 月 1 日 (金) 方法: オンライン (ZOOM 接続による同期型) / 自宅等からの接続

(第二弾) 令和3年10月23日(土)場所:愛媛県今治市大島・伯方島周辺(しまなみ海道)

※安全対策として、健康状況の確認(健康チェック票の記録と確認、当日の体温測定)、手指消毒の徹底、走行時以外のマスク常時着用、飲食時の黙食、マイクロバス移動時の二酸化炭素濃度による換気の徹底など感染予防策を実施。

【実施体制】

主催:愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室、国立高雄科技大学(台湾・国)

後援:愛媛県 運営協力:今治市サイクルシティ推進室

協力:サンライズ糸山,村上海賊ミュージアム, (株) Kai Works, (株) Ties,

学生リーダー:伊澤綾夏(社会共創学部2年), サブリーダー:池野桃華(社会共創学部2年)

実施責任担当教員:仲道雅輝(愛媛大学教育企画室 副室長 講師),村田晋也(同 講師),許宏徳(国立高

雄科技大学准教授, 愛媛大学客員教授)

【参加者数】

<オンライン>合計:53名(愛媛大学・国立高雄科技大学・愛媛県)

愛媛大学生参加者:26名(法文8名,教育3名,社共6名,工学5名,理学1名,農学3名)

国立高雄科技大学生参加者 21 名

教職員関係者:6名(うち愛媛大学教職員3名,国立高雄科技大学教職員1名,愛媛県庁職員2名)

<しまなみ海道>合計:33名(愛媛大学・愛媛県・今治市)

愛媛大学生参加者:26名(法文8名,教育3名,社共6名,工学6名,理学2名,農学1名)

教職員関係者:7名(うち愛媛大学教職員3名,愛媛県庁職員2名,今治市職員2名)

【学習成果】

愛媛大学と国立高雄科技大学(台湾)の学生が、愛媛県等に後援・協力いただいている「環四国サイクリングプロジェクト」 オンライン&しまなみ海道編として、今年は、オンラインでの日台交流に加えて、愛媛大学生がしまなみ海道をサイクリングして集めたリアルな情報を、高雄科技大学生に SNS を通じて伝えることで、さらに深く交流するという二段構成となっている。この「オンライン&しまなみ海道サイクリング交流」は、コロナ禍においても日台の国際交流を継続させ、台湾学生とのつながりを強めたいという想いから、2か月間をかけて、参加者も企画の段階から意見を出し合い、主体的に参画する運営方法としました。

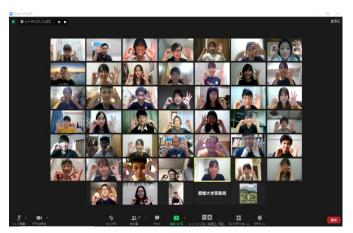
第一弾のオンライン国際交流では、「愛媛県内のサイクリング」や、「気になる文化調べたよ!」、「日台の文化の違い(食事や交通手段など)」、「愛媛アナバ発見(愛媛の魅力)」、「サイクリング・愛媛超紹介(東予・中予・南予)」のプレゼンを行い、参加者から「初めて知ることも多かった」、台湾の参加者からも「いろいろな情報が盛り込まれていて面白かった」「台湾の文化や考えがわかるようになったのが新鮮だった」という声を多く聞くことができました。

また、愛媛県観光スポーツ文化部観光交流局サイクリング普及調整監であり、愛媛県の自転車文化の発展をけん引する坂本氏より「四国一周・サイクリングの魅力」についてお話しいただき、台湾一周の魅力についても説明されました。

第二弾のしまなみ海道サイクリングでは、実際に愛媛大学生 26 名が、サンライズ糸山から来島大橋を自転車で渡り、大島島内と伯方島を5チームに分かれて走破し、一人も脱落することなく完走証書が授与されました。そこでは、チームそれぞれに、潮流体験や亀老山、よしうみバラ公園、伯方島ドルフィンファーム、カフェ巡りなどの行き先を組み合わせたコースを企画し、安全に隊列を組んでサイクリングを楽しみました。最後に、村上海賊ミュージアムに集合し、NHKの番組「ブラタモリ」で案内役を務めておられた田中学芸員さん(愛媛大学法文学部卒業生)の解説を受け、地元の歴史への理解を深めました。プロジェクト開始時は初対面同士だった学生が多く、また、コロナ禍でもあり、オンライン授業で顔を見たことがある程度の間柄が、少しずつ打ち解けて仲間になり、先輩とのつながりを作ることもできていきました。

閉会式では、プロジェクトに参加して得られたそれぞれの成果として、「南予で進めているプロジェクトに、このプロジェクトでの体験を活かしていきたい」、「チームで走る楽しさを発見した」、「しまなみのスポットを周り、新たな魅力を知ることができた」、「今後の自分の進路を決める上で、今回参加した経験を活かして考えていきたい」などの感想や抱負が発表され、さまざまな目的をもって集まったこと、それぞれに意味のある成果があったことを共有することができました。参加者は、あらためて、対面で経験を共にすることの楽しさや意義を感じた様子でした。また、終了後も、台湾国立高雄科技大学学生らと、SNS上で写真のやり取りを行うなどの継続した交流が行われ、来年の夏には、香川・小豆島うどんサイクリングプロジェクトで会おうと、強く心に誓うイベントとなりました。さらに、次回プロジェクトの新リーダーも決定し、次年度に向けて順調に活動を開始することができました。

本プロジェクトは、愛媛県が推進する「自転車新文化」を広く発信することも目的の一つとしており、参加学生からは、しまなみ 海道や地元の歴史等への関心が高まり、サイクリングを通しての自転車新文化の裾野の広がりを感じる機会にもなったなどの意 見がありました。今回の開催は、学外への広報としてプレスリリースの発行を行い、愛媛大学生のアクティブな活動を地域に知って いただける機会ともなり、オンラインにおいても愛媛の自転車新文化や観光資源を広く PR することができる可能性が示されました。



オンライン国際交流の集合写真



スタート前の安全講習の様子



しまなみ海道サイクリング集合写真



大島島内サイクリングの様子



TATO YE.

村上海賊ミュージアムでの学芸員さんからの解説 (愛媛大学法文学部卒業生)

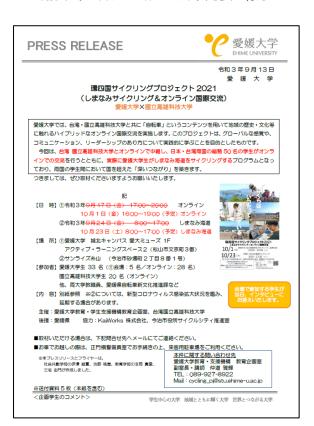




閉会式: 各チームからの成果発表の様子



亀老山山頂展望台にて





アンケート結果

オンライン国際交流 参加者 47 名 (回答数 35 回収率 74.5%) しまなみ海道サイクリング 参加者 26 名 (速報値回答数 14 暫定回収率 53.8%)

1. 満足度



2. 充実感



3. プロジェクトに関して、意見や感想(自由記述)

オンライン国際交流

- 1. 今回のプロジェクトに参加し、チームで何かを達成することの難しさを実感するとともに、仲間を大切にすることの素晴らしさなどを改めて気づくことができました。また、今まで知らなかった台湾の魅力をたくさん知ることができ、これからもっともつきについて知りたいと思う事ができました。ありがとうございました。
- 2. 今回のプロジェクトに参加していなければおそらくこの先も関わることがなかったであろう人(日本学生、台湾学生含め)と関わりを持つことが出来て嬉しかった。また、違う国で生きている同世代の人が何に興味を持ちどんな性格を送っているのかも知ることが出来とても満足している。今日できた繋がりをこれからも大切にしたい。
- 3. 愛媛の魅力を改めて知ることができたことと、 台湾について知らなかったことをたくさん知り、 台湾にぜひ行ってみたいと思うきっかけができたこと。
- 4. お疲れ様です。そしてありがとうございます。こんなに真剣にイベントに参加して本当にいろいろ勉強できました。家庭経済が良くない私でさえも、自分の家で留学したみたいな感じが出来て、心から感謝しています。日本語はまだまだですが、これからも頑張って行こうと思います。
- 5. 卒業したまま、もう半年くらい日本語を使っていないので、この素敵な活動を一緒に参加して本当に良かったと思います。 また次の交流イベントを期待しています。ありがとうございました!
- 6. こういうとこにも行けない時期に、日本の大学生とオンラインの形で出会って本当によかったです!!皆はとても優しいです❸日本が大好きです!
- 7. 日本の方がいっぱい地元の情報を紹介してくれて、もちろん台湾のこともうまく説明されてて、皆様が努力した様子は本当に心から強く感じたので、ありがとうございます。
- 8. ありがとうございました! Thank you for today's online event、if is possible that the participants could get a certificate or certified documents for the program so that we can put this precious experience in the resume in the upcoming future.

しまなみ海道サイクリング

- 1. 参加してみて非常に楽しかったです。コロナ禍で対面の企画が軒並み頓挫する中で実現できたことは、学生の熱意と、先生方などの各方面のご尽力のおかげだと感じております。皆さんと一緒にサイクリングできてよかったです!来年も頑張ってください!
- 2. 初めてのサイクリングでしたがとても楽しかったです!大学生活の中でも特に印象に残る思い出になりました。ありがとうございました。
- 3. みんなと交流を深める中で改めてサイクリングの魅力を感じました。この気持ちをもっと多くの人に感じてもらうためにも来年の香川頑張りたいと思います!
- 4. 今回、プロジェクトに参加させていただき、とても楽しい思い出ができました。このプロジェクトに参加して、サイクリングの楽し さだけでなく、仲間を大切にすることの大切さなども学ばせていただきました。本当にありがとうございました。
- 5. この環四国サイクリングプロジェクトに参加できて、とっても良かったです!サイクリングの楽しさに気づけて、継続していきたいと思える、趣味に出会えた事はもちろん、以前から知っていた後輩や、ELSで共に活動していた仲間が、懸命に努力して、プロジェクトを行なってくれている姿を間近で見ていて、尊敬と感謝の気持ちでいっぱいでした。大変な事も、たくさんあったと思うけれど、参加する私たちのために、頑張ってくれて本当にありがとうございました。自分も頑張らないとなぁ!と、とても良い刺激をもらいました かまた、このコロナ禍で、厳しい状況の中でも、開催のために力を貸してくださった多くの方々へも、感謝の気持ちでいっぱいです。これからは、サイクリングの楽しさを自分が伝えていけるようにがんばります か本当にありがとうございました。
- 6. 隊列を組んで、サイクリングをする事で、チーム内での絆も深まったと感じるからです。前後を確認し、合図を送り合いながら、お互いを思い合ったり気遣いあったりして、一つの目的を達成する楽しさを実感できた。
- 7. 知り合いも増え、自然を感じながら、楽しく充実感に溢れた体験をできた事です。サイクリングに参加しなければ、感じられなかった事や、知り合えなかった、高雄科技大学の学生、愛媛大学の仲間、県庁や今治市役所の職員の方々、など全て含めて、自分の大学生活の中でも、とても大切なかけがえのない体験になりました。